



コロナ禍での活動

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない今日この頃ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

つなぐは、人との交流が生じる活動が極度に制限される中、リモートを活用しつつも、法人の活動が途切れることがないよう、通常通りに活動してまいりました。

ただ、残念なことに、本人との面会は、グループホームや機関からの制限がかかり、思うようにできないことも起きています。気がかりなことはいくつかあります。ひとつは、本人の活動範囲が非常に狭まり、自宅待機の時間も増えたので、生活リズムの崩壊と活動量の減少により、体調不良を起している方がいらっしゃることで、気分転換の外出をコーディネートすることもできないので、後見人としてはジレンマを感じますが、障がいのある方が、グループホームで一人の時間をどのように過ごすかは課題が多いと思われれます。

もうひとつは、在宅サービスが縮小されたため、家族の介護負担が重くなったことです。なかには、家族が持病を悪化させた事例もありました。深刻な事例については、関係機関の支援もあり、乗り切ることができました。しかし、一連の騒動から、家族介護の限界を見たような気がしています。

11月25日の神奈川新聞に「家庭訪問をオンラインで」という投稿記事がありました。同居している知的障がいのある息子さんが自ら、後見人との面談をオンラインでと発案し、実施していたとのこと。母は「やるじゃん」と思ったと感想を綴っておられました。現在第三波の真ただ中にいるわけですが、このような状況だからこそ知らなかった、ご利用者の方々の可能性に気づき、上に述べたような心配を軽減することができるよう、活動していきたいと思えます。(西田ちゆき)

事務局スタッフ

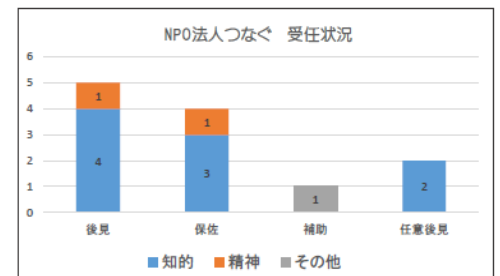
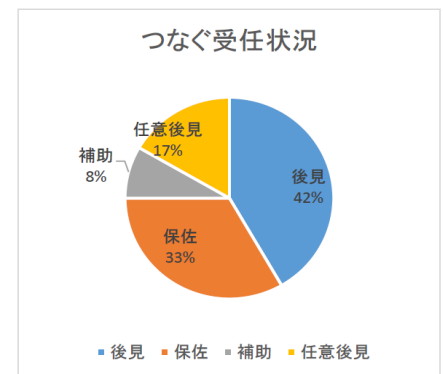


現在の受任状況

2020年12月現在、法人の受任は全12件となりました。類型別では後見5件、保佐4件、補助1件、任意後見2件となっています。障害別では、知的障がいの方が9名と受任のほとんどを占めています。

〈類型別〉

後見	保佐	補助	任意後見	合計
5	4	1	2	12



〈事務所住所〉

〒227-0051
 横浜市鶴見区鶴見中央3丁目
 21番9号東建シティハイツ鶴見中央202号
 電話 045-717-6662
 FAX 045-717-6668
 E-mail turumi@npo-tunagu.org

特集：親なき後のあんしんガイド

三人会の紹介

三人会は知的障害者施設に通所する親の会で活動していた有志が集まって、親なき後の準備に関する研究と普及啓発活動を行ってきた団体です。3人の活動から始まったので3人会と名付けました。2010年に親なき後のあんしんノートを作成し、現在NPO法人つなぐのホームページからダウンロードできるようにしています。また、2016年度にはNPO法人よこはま成年後見つばさと協働し、厚生労働省平成28年度指定課題研究「成年後見制度の理解促進及び適切な後見類型の選択につなげることを目的とした研修の開発及び、法人後見における利益相反に関する研究」に取り組みました。

2020年度は、みずほ福祉助成財団の研究費を得て「親なき後のあんしんガイド」を作成しました。これは、成年後見制度だけではカバーしきれない福祉サービスや信託制度等についても言及・解説したもので、A5サイズの冊子に仕上がっています。

障がいのある子を持つ親の想いとは

知的障害者の親を対象にした研究では、「子離れ、親離れの必要性を感じつつも、自分以上に本人のことを理解しケアできる人はいない」という思いや、「施設入所を希望しつつも施設体制への不安や子どもが施設に適応できるかどうかの不安」、「兄弟姉妹にあまり負担をかけたくないと思う気持ち」、「金銭管理や契約などへの不安」などが明らかにされています。どの事項をとっても、心配が尽きないことは想像に難くありません。とはいえ、親子共々、着実に年齢を重ねてゆくもので、心配ばかりでは気がめいってしまいます。そこで、親が元気なうちに取り組めることに焦点を当てて作成したのが「親なき後のあんしんガイド」(以降、あんしんガイドと略す)です。

あなたのご家庭はどの事例に近いですか？

あんしんガイドでは、NPO法人つなぐが受けた相談事例の分析から、想定される親なきあとの6つの典型事例を紹介し、解説を加えました。

例えば、親なき後はすべて兄弟姉妹に任せたいという事例です。きょうだい仲の良いことは良いことですが、きょうだいもそれぞれの生活があります。まとまった財産の管理は信託制度を活用し、定期給付を受けられるよう準備することや第三者後見人の検討も視野に入れるようアドバイスをしました。

全事例共通する助言の視点は、①親なき後、兄弟姉妹のその時々々の生活状況の影響を受けることがないように本人の経済的な基盤をどのように整えていくか、②福祉サービスの活用により本人の社会参加をどのように確保していくか、ということです。

親が子に相続する予定の財産を配分する方法とその額について、ある程度見通しを立てておけば、本人がいつ成年後見制度を利用すべきかが見通せますし、親自身も自分自身のためにどのような準備が必要なのか検討することができます。

親のための終活

私たちはこの研究事業を通して、親は元気なうちに、①現状の生活の範囲で使える限りの福祉サービスを活用しておくこと、②親の財産がある場合、子の生活と子が残した財産をどこに引き継ぐかも想定し、家族信託等の制度を検討してみる、③できれば自分たちの老後のことも考えて、自分自身の任意後見制度等も視野に入れておくことが必要ではないかと結論づけました。

あんしんガイドは、賛助会員の方には無料で、その他の方は、郵送料をご負担いただければ、無料で配布しております。ご希望の方はNPO法人つなぐ事務局までお問い合わせください。

(三人会代表 根岸満恵)



つるみけんたろうカフェの報告と今後の予定

2019年度は今年度の本格実施を見据えたけんたろうカフェでしたが、2020年度は鶴見区社協から助成金を得て実施しました。今年はコロナウィルス感染拡大の影響で、密を避けて実施することが求められました。マスクとフェイスシールド、参加者同士のソーシャルディスタンスを考慮した会場の確保など、準備に時間がかかりました。なにより、参加者を募るのに苦労しました。これまでの内容を少しご紹介します。

【7月、12月 笑ってヨガ】

ヨガ講師の紙谷先生を招いて実施しました。参加者は7名でした。笑いヨガ、顔ヨガ、椅子に座って簡単なほぐしヨガの実施。普段使わない筋肉の動かし方を学びましたなど、好評でした。

【8月 知っておこう介護保険】

NPO法人あしほの田淵理事長に、介護保険制度のしくみ、サービス利用の手順、サービスの種類と費用などの簡単な説明と事例を交えたお話をいただきました。今回は、介護保険の基本的なお話でしたが、簡潔にまとめてくださり、参加者の皆さまからも体験談や、質問がたくさん出ていました。

【10月 かかりつけ薬局】

薬剤師の志村好江さんを講師に、かかりつけ薬剤師を持つメリットや、かかりつけ薬局の役割などの説明と、具体事例を交えたお話がありました。コロナ禍で、障がいをお持ちの方を取り巻く薬事情には共感することも多く、参加者の皆さまからも体験談や、質問がたくさん出ていました。

【11月、2月 歌って脳トレ】

つなぐのメンバーであり、音楽療法士として活躍されている前中郁さんが講師でした。脳トレを兼ね

た童謡唱歌等、久しぶりに声を出してうたって気持ちよかったとの感想が聞かれました。2月も歌って脳トレを実施します。

次回のけんたろうカフェは2月3日、ハーモニー豊岡地域交流室で実施します。10時10分～11時40分です。皆様のご参加をお待ちしております。

地域のなかで、人と人をつなぐ
つるみけんたろうカフェ
【ポジティブ・エイジング】

いつまでも、住み慣れた地域で、自分らしい生活ができるように、元氣なうちから人と人のつながりを作っていきます。

開催日時・内容	開催日時	内容	参加費
1	7月17日(金)	10:30-12:00 笑ってヨガ	つなぐ事務局 参加費:300円
2	9月17日(木)	10:30-12:00 知っておこう介護保険	区社協 参加費:無料
3	10月15日(木)	10:10-11:40 かかりつけの安心を (かかりつけ薬局・薬剤師)	ハーモニー豊岡地域交流室 参加費:無料
4	11月18日(水)	10:10-11:40 歌って脳トレ	ハーモニー豊岡地域交流室 参加費:300円
5	12月4日(金)	10:10-11:40 笑ってヨガ	ハーモニー豊岡地域交流室 参加費:300円
6	2021年3月(水)	10:10-11:40 歌って脳トレ	ハーモニー豊岡地域交流室 参加費:300円

※10月の開催は区協の協賛によるものです。開催の可否は要確認です。

参加対象者: 障がいのあるお子さんを
と関わるご家族

会場: NPO法人つなぐ 事務局
区社協 団体交流室

お問合せ・お申込み: 各団体事務局が違いまいますので、お間違えのない
TEL: Fax: 045-717-6662 Email: tsumi@npo-tunagu.org 担当: 宮本、岡本、前中
NPO 法人つなぐ 鶴見区障がい者権利センター
〒230-0051 鶴見区鶴見区鶴見中央 3-21-9
東建シティバザール鶴見中央 202



寄付者の皆様

川副英子様
 疋田和子様
 熊谷美恵子様
 熊谷雅樹様
 細田清子様
 海東壺子様
 野口忍様
 廣田寛治様、竹下敬子様
 伊藤義子様、青木禮子様、
 根岸英光様、野田和雄様、林田麻美子様

ありがとうございます
 ございます

賛助会員募集と寄付のお願い

◎ 賛助会員を募集しています

個人会員 1口 3,000円
 団体会員 1口 5,000円



◎ 寄付金を募集しています

賛助会員、寄付者には機関誌つなぐを送付いたします。
 事務局までご連絡ください。

今年度申請した助成金で買った事務所の機器をご紹介します

アクリルバン板
タブレットパソコン(リモート会議用)



リモート研修用にプロジェクター



ノートパソコン、フェイスシールド



コロナウイルス対策用に空気清浄機



今年度はコロナウイルス感染拡大による影響を理由に、様々な緊急助成金を申請する機会がありました。2020年度、例年募集している助成金も含めて、以下の助成金を頂き、事務所の機器類を揃えることができました。写真で紹介したのは助成金で購入した機器類です。

(助成金名)

- ・横浜市ふれあい助成金(30万円)
- ・鶴見区ふれあい助成金(5万円)
- ・日揮社会福祉財団助成金(20万円)
- ・横浜市公益活動緊急支援助成金(30万円)
- ・愛恵福祉支援財団助成金(50万円)
- ・SONPO福祉財団認定NPO法人取得資金助成金(30万円)

【編集後記】

今年、受任件数も順調に増え、後見活動が軌道にのってきました。いろいろな問題がありましたが、難題が降りかかるにつけ、法人後見でよかった、チームでやるから後見の仕事はやりがいを感じるんだと再認識しました。

皆様、どうかよいお年をお迎えください。

(西田ちゆき)